

概要版

東京水道経営プラン 2007

～ 次世代に向けた新たなステージの展開 ～

- ① 将来にわたる安全でおいしい水の安定的な供給
- ② ニーズに応じたお客さまサービスの積極的な展開
- ③ 効率的で責任ある運営体制の構築など経営基盤の強化
- ④ 給水安定性の向上と経営の効率化に向けた広域化の推進
- ⑤ 次世代を見据えた幅広い施策の推進

平成19年3月

「東京水道経営プラン2007」の策定にあたって

東京都水道局では、この度、平成19年度から平成21年度までを計画期間とする「東京水道経営プラン2007」を策定いたしました。

本計画は、目標管理と成果重視の視点に立ち、都民への説明責任を果たしていくため、東京都水道事業経営問題研究会における幅広い観点からのご意見などを踏まえ、3年間に取り組んでいく施策の事業計画と財政計画を明らかにしたものです。

都の水道事業は、明治31年に近代水道として通水を開始して以来、最も重要な都市基盤施設の一つとして、都民生活と首都東京の都市活動を支えてきました。

しかしながら、都の水源は、濁水に対する安全度が低いなどの課題を抱えていること、現在の施設の中には、老朽化による機能低下やバックアップ機能が不足するものがあることなど、施設水準のさらなる向上が必要です。

また、国の中央防災会議で首都直下地震の切迫性が指摘されるなど、震災対策の重要性が増してきています。

さらに、「蛇口離れ」が進行するなど、水道水に対してより一層の安全、安心が求められているほか、都民ニーズの多様化・高度化を背景に、お客さまにとって利用しやすいサービスの提供など、様々な取組が必要になっています。

地球規模で深刻化する環境問題などに対しても、公営企業としての社会的責任を果たしていくことが求められています。

こうした中で、東京水道が首都東京を支えるライフラインとして、その使命を全うしていくために、次世代を見据えて、ハード・ソフト両面にわたり、より信頼性の高い水道システムを構築していくとともに、質の高い水道サービスを展開していきます。また、蛇口から直接水を飲むという日本の水道文化を次世代へと引き継いでいきます。さらに、近隣事業者との連携を深めていくとともに、世界に誇る東京の水道技術を国内外へと発信していきます。

また、今後も、民間に委ねられる業務は可能な限り民間事業者に委託していくとともに、基幹的業務について、水道局と監理団体が一体的な事業運営体制を構築するなど、強固な経営基盤を確立していきます。こうしたことで、公共性と効率性を両立させながら、将来にわたり、責任をもって安全でおいしい水を安定的に供給していきます。

東京都水道局では、これまで培ってきた歴史と伝統を引き継ぎ、「次世代に向けた新たなステージの展開」に、全力で取り組んでいきます。

目次 CONTENTS

「東京水道経営プラン2007」の概要

経営方針・施策体系	2
① 将来にわたる安全でおいしい水の安定的な供給	4
② ニーズに応じたお客さまサービスの積極的な展開	6
③ 効率的で責任ある運営体制の構築など経営基盤の強化	7
④ 給水安定性の向上と経営の効率化に向けた広域化の推進	8
⑤ 次世代を見据えた幅広い施策の推進	8
〈 財政収支計画・経営努力・施設整備主要事業計画 〉	9
〈 目標管理 〉	10
〈 東京の水道水源と浄水場別給水区域 〉	12

「東京水道経営プラン2007」(平成19~21年度)

～次世代に向けた新たなステージの展開～

経営方針

東京水道は、都民生活と首都東京の都市活動を支えるライフラインとして、効率経営に
また、将来を見据えた取組を進めるとともに、東京水道の伝統を次世代に引き継いでい

施策の体系

将来にわたる安全でおいしい水の
安定的な供給

ニーズに応じた
お客さまサービスの積極的な展開

効率的で責任ある運営体制の
構築など経営基盤の強化

給水安定性の向上と経営の効率化
に向けた広域化の推進

次世代を見据えた
幅広い施策の推進

努めながら、一層確かな安心・安定を実感できる水道サービスを提供していきます。

(主な施策)

安 定 給 水

安定した水源の確保、危機管理対策の一層の推進、大規模水道施設の更新に備えた取組

安全でおいしい水の供給

高度浄水処理の着実な導入、水質管理の徹底

蛇口回帰に向けた取組

貯水槽水道の適正管理及び直結給水化の普及・促進、公立小学校の水飲栓直結給水化モデル事業、水道キャラバン

お客様の利便性の向上

お支払い方法の多様化（クレジットカード支払いの導入）

お客さまとの相互理解の推進

広聴機能の充実、地域に密着した取組の推進

水道施設のイメージアップ

施設の開放、給水拠点の周知等

水道局及び監理団体による
一体的事業運営体制の構築

一体的事業運営体制の順次構築、監理団体に対する指導監督の強化

多様な経営管理手法の活用

業務指標を活用した目標管理、外部の専門的意見の反映、指定管理者制度（代行制）の導入、技術の継承

資産の有効活用等

柔軟かつ効果的な資産の利活用の推進

多摩地区水道の広域的経営

事務委託の着実な解消

近隣事業者との連携

都領域を越えた水の相互融通体制の強化、共同防災訓練の実施

水道文化の継承

公立小学校の水飲栓直結給水化モデル事業（再掲）、水道キャラバン（再掲）

地球環境の重視

多様な主体との連携による森づくり、環境施策の推進

国内外の水道界への貢献

水道局の技術・ノウハウの国内外に向けた発信

1 将来にわたる安全でおいしい水の安定的な供給

(1) 安定給水

① 安定した水源の確保

引き続き安定した水源の確保に努めます。



▲滝沢ダム

② 危機管理対策の一層の推進

● 原水連絡管の二重化

震災時や事故時でもバックアップできるよう、原水連絡管の二重化を図ります。

● 浄水場の耐震強化等

浄水場の耐震強化及び自家用発電設備の整備を進めます。

● 送配水管ネットワークの強化

効率的な水運用や非常時におけるバックアップ機能の強化を図ります。

● 経年管・初期ダクタイトイル管の取替

耐震性の低い水道管の取替を着実に推進します。



▲経年管の取替

● 三次救急医療機関・首都中枢機関等への供給ルートの耐震強化

重要施設への供給ルートの耐震化に優先して取り組みます。

● 給水所等の新設・拡充

地域給水の拠点となる給水所等の整備を進めます。

● 大口径給水管の耐震強化

管路全体の耐震性を向上させるため、大口径給水管の耐震強化を推進します。

③ 大規模水道施設の更新に備えた取組

● アセットマネジメント手法の導入

適切な維持管理による施設の延命化を図るとともに、計画的な更新を実施し、更新時期の平準化と費用の最小化を図ります。

● 大規模浄水場更新積立金の創設

浄水場の集中更新に備え、代替施設の整備に向けた所要額の積立を行います。

(2) 安全でおいしい水の供給

① 高度浄水処理の着実な導入

利根川水系の全浄水場に高度浄水処理を順次導入していきます。



▲高度浄水施設(オゾン接触池)

② 水質管理の徹底

● 残留塩素の低減化

カルキ臭の原因の一つとなる残留塩素の低減化に向けた総合的な施策を推進します。

● 水安全計画に基づく水質管理

新たな管理手法を導入し、水質管理をより一層徹底します。

(3) 蛇口回帰に向けた取組

蛇口回帰に向けた「安全でおいしい水プロジェクト」の推進

より多くのお客さまに蛇口から直接水を飲んでいただくことをめざして、「安全でおいしい水プロジェクト」を一層効果的に推進していきます。

① 貯水槽水道の適正管理及び直結給水化の普及・促進

貯水槽水道の点検調査や直結給水方式への切替に関するアドバイス等を行います。

② 公立小学校の水飲栓直結給水化モデル事業

公立小学校400校を対象として、水飲栓の直結給水化モデル事業を推進します。

③ 水道キャラバン

次世代を担う小学生の水道に対する理解を深めるため、キャラバン隊による訪問授業を実施します。



▲水道キャラバン隊の授業風景

主な効果

- 渇水時や震災時等における給水安定性が向上します。
- 蛇口から出る水道水のおいしさを実感できるようになります。

2 ニーズに応じたお客さまサービスの積極的な展開

(1) お客さまの利便性の向上

料金のお支払い方法にクレジットカード支払いを導入します。



(2) お客さまとの相互理解の推進

① 広聴機能の充実

広聴機能を充実し、お客さまの声を局事業に一層反映させていきます。

② 地域に密着した取組の推進

「地域水道ニュース」の発行などをはじめ、地域に密着した様々な取組を推進します。



▲「地域水道ニュース」の例

(3) 水道施設のイメージアップ

施設の開放、構内の緑化など水道施設のイメージアップに努めるとともに、浄水場や給水所等が震災時の給水拠点となることをお伝えするため、案内標識をよりわかりやすいものにしていきます。



▲施設見学会の様子(朝霞浄水場)

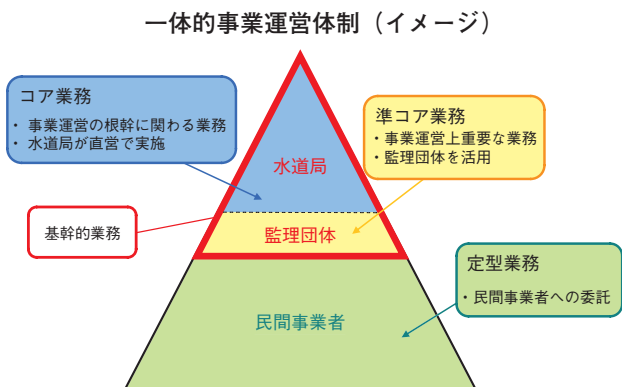
主な効果

- お支払い方法が多様化することにより、お客さまの利便性が向上します。
- 水道事業への理解を一層深めていただくとともに、水道をより身近に感じていただけます。

3 効率的で責任ある運営体制の構築など経営基盤の強化

(1) 水道局及び監理団体による一体的事業運営体制の構築

民間に委ねられる業務は可能な限り民間事業者に委託していくとともに、水道局と水道局が所管する東京都監理団体が新たな一体的事業運営体制を構築していきます。



(2) 多様な経営管理手法の活用

① 業務指標を活用した目標管理

水道事業ガイドラインなどを活用し、目標管理を徹底するとともに、その達成状況を公表していきます。（業務指標については10ページ、11ページを参照）

② 外部の専門的意見の反映

外部委員会を活用して、より専門的な意見を求め経営に反映させていきます。



▲東京都水の科学館

③ 指定管理者制度（代行制）の導入

PR施設の運営について指定管理者制度（代行制）を導入します。

④ 技術の継承

水道局版ナレッジマネジメントシステムの構築やマイスターの認定制度の導入などにより、技術の継承を進めます。

(3) 資産の有効活用等

土地・建物の情報を一元的に管理する資産バンクシステムを活用し、資産の価値を最大限発揮させる利活用を推進します。

主な効果

- ・公共性と効率性を両立させた責任ある経営が可能となります。
- ・外部の専門的意見を経営に反映させることができ、公共性の発揮や一層の経営効率化を図ることができます。
- ・よりわかりやすく魅力的な展示内容とするなど、PR施設の更なる充実を図ることができるとともに、一層効率的な管理運営が可能となります。

4 給水安定性の向上と経営の効率化に向けた広域化の推進

(1) 多摩地区水道の広域的経営

各市町への事務委託を着実に解消し、市町域にとられない広域的経営を行います。

(2) 近隣事業体との連携

都県域を越えた水の相互融通を行う体制を強化するとともに、共同の防災訓練を実施するなど、近隣事業体との連携を深めます。

主な効果

- ・多摩地区におけるお客さまサービスや給水安定性が一層向上するとともに、事業運営の更なる効率化を図ることができます。
- ・震災時や大規模な水源水質事故時等において迅速な対応が可能となります。

5 次世代を見据えた幅広い施策の推進

(1) 水道文化の継承

蛇口から直接水を飲むという日本が誇る水道文化を次世代に継承するための取組を進めます。

- ① 公立小学校の水飲栓直結給水化モデル事業（再掲）
- ② 水道キャラバン（再掲）

(2) 地球環境の重視

① 多様な主体との連携による森づくり

多摩川水源森林隊の着実な運営とともに、ボランティアやNPO等との連携・協働を一層推進していきます。

② 環境施策の推進

「東京都水道局環境計画」に基づき、実効性のある環境施策を実施します。



▲水道水源林

(3) 国内外の水道界への貢献

世界有数の水道事業体として、技術・ノウハウを積極的に国内外へ発信します。

主な効果

- ・次世代を担う小学生が水道に対する理解を深めるとともに、水道文化を感じとることができます。
- ・環境負荷の低減を図ることができます。
- ・水道技術・ノウハウの発信により、幅広く水道界へ貢献することができます。

財政収支計画・経営努力・施設整備主要事業計画

必要な事業を行ったうえで、3年間で220億円の経営努力を行い、現行の料金水準を維持します。

● 財政収支計画

(単位：百万円)

年度	収 入						支 出					収 支 過不足額	累積収支 過不足額 (18年度末 見込 1,532)
	料 金	起 債	国 庫 補助金	一般会計 繰入金	そ の 他	計	営業費用	支払利息	元 金 償 還 金	建 設 改 良 費	計		
19	320,307	22,584	6,662	4,633	40,309	394,495	210,438	17,425	66,282 (△ 3,900)	99,918 (5,000)	394,063	432	1,964
20	321,327	12,644	6,560	4,797	40,187	385,515	216,726	16,072	53,353	100,856 (5,000)	387,007	△ 1,492	472
21	323,078	12,154	5,171	4,888	42,854	388,145	218,502	14,903	54,507	100,705 (5,000)	388,617	△ 472	0
計	964,712	47,382	18,393	14,318	123,350	1,168,155	645,666	48,400	174,142 (△ 3,900)	301,479 (15,000)	1,169,687	△ 1,532	

注1 起債及び元金償還金は、借換分を除いたものである。

2 元金償還金は、民間債の満期一括償還制度導入に伴う平準化をした後の額である（カッコ内は内書き）。

3 建設改良費は、大規模浄水場更新積立金を含めた額である（カッコ内は内書き）。

● 経営努力

(単位：百万円)

事 項	19年度	20年度	21年度	計
事業運営体制の抜本的な見直し (職員定数の削減)	2,602 (250人)	3,817 (150人)	6,280 (250人)	12,699 (650人)
既定経費の節減	981	1,428	1,947	4,356
資産の有効活用等	1,971	479	2,495	4,945
計	5,554	5,724	10,722	22,000

● 施設整備主要事業計画

(単位：百万円)

事業名	事業費	年度別計画額			
		19年度	20年度	21年度	
水源及び浄水施設整備事業	96,000	32,000	32,000	32,000	
送配水施設整備事業	157,000	52,000	52,000	53,000	
給水設備整備事業	17,000	6,000	6,000	5,000	
計	270,000	90,000	90,000	90,000	
財 源	企 業 債	47,382	22,584	12,644	12,154
	国 庫 補 助 金	18,393	6,662	6,560	5,171
	一 般 会 計 繰 入 金	6,902	2,234	2,334	2,334
	そ の 他	197,323	58,520	68,462	70,341

目標管理

● 経営に関する指標

計画期間内の経営に関する指標は次のとおりです。

指 標		算定方法	17年度 (実績)	19年度 (計画)	20年度 (計画)	21年度 (計画)
経営の 効率性	職員一人当たりの給水件数 (千件/人)	給水件数 / 全職員	1.3	1.5	1.5	1.7
	職員一人当たりの配水管管理延長 (km/人)	配水管管理延長 / 全職員	5.1	5.6	5.8	6.2
	職員一人当たりの有収水量 (千m ³ /人)	有収水量 / 全職員	309.1	337.9	350.6	374.2
	給水原価 (円/m ³)	(総支出額-関連収入) / 調定水量	211.5	204.5	205.7	204.7
経営基盤の 強化	職員給与比率 (%)	(職員給与費 / (収益的支出+資本的支出)) ×100	8.3	8.0	8.1	7.7
	企業債残高 (億円)	年度末企業債未償還残高	5,825	5,003	4,596	4,173
	給水収益に対する元利償還割合 (%)	((支払利息+元金償還金) / 給水収益) ×100	29.4	27.2	21.4	21.3
	自己資本構成比率 (%)	((自己資本金+剰余金) / (負債+資本)) ×100	68.8	73.5	75.7	77.9
収益性	経常収支比率 (%)	((営業収益+営業外収益) / (営業費用+営業外費用)) ×100	118.8	119.3	119.4	120.1

注1 指標値は、すべて税込みの額により算出している。

2 給水原価は、総支出額の中に資本的支出額を含めた資金ベースで算出している。

3 給水原価、企業債残高及び自己資本構成比率は、民間債の満期一括償還制度導入に伴う平準化をした後の額を基準として算出している。

4 給水収益に対する元利償還割合は、借換分を除いたもので算出している。

● 施設整備に関する指標

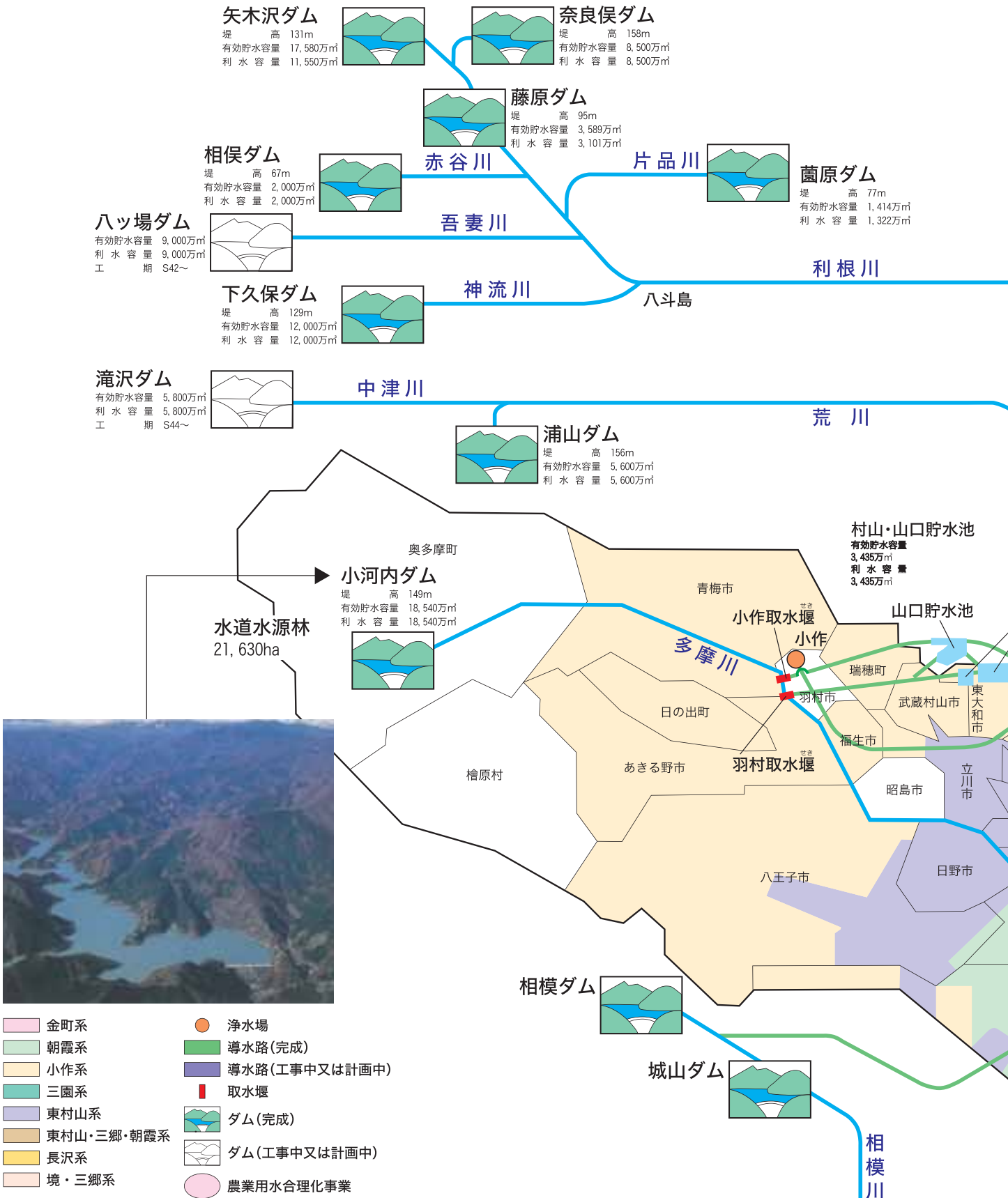
計画期間内の施設整備に関する指標は次のとおりです。

目 標		算定方法	17年度 (実績)	21年度 (計画)	達成年次 (目標)
安定給水	渇水時における安定給水のための水源確保率 (%)	(確保した水源量 / 目標とする水源量) × 100	92	94	23年度 100
	ろ過池耐震施設率 ^{注1} (%)	(耐震化ろ過池処理能力 / ろ過池総処理能力) × 100	50	56	28年度 90
	配水池耐震施設率 ^{注1} (%)	(耐震化配水池容量 / 配水池総容量) × 100	31	56	28年度 95
	停電時の給水確保率 (%)	(停電時給水確保量 / 停電時使用見込量) × 100	83	93	25年度 100
	事故時の安定給水確保率 (%)	(配水区域を持つ浄水場・給水所の配水池容量 / 計画一日最大配水量の12時間分) × 100	73	77	28年度 85
	経年管の解消率 (%)	(経年管取替済延長 / 経年管延長) × 100	95	99	25年度 100
	初期ダクトイル管の解消率 (%)	(初期ダクトイル管取替済延長 / 初期ダクトイル管延長) × 100	7	19	28年度 55
	ダクトイル鑄鉄管率 (%)	(ダクトイル鑄鉄管等の管路延長 / 管路の総延長) × 100	98	99	25年度 100
	管路の耐震継手率 ^{注2} (%)	(耐震型継手を有する管路延長 / 管路の総延長) × 100	20	26	28年度 35
	重要施設供給ルートにおける耐震継手率 ^{注2} (%)	(耐震継手管の延長 / 供給ルートの管路延長) × 100	22	38	28年度 100
	大口径給水管の耐震化率 (%)	(施工済給水栓数 / 対象給水栓数) × 100	65	78	25年度 100
安全でおいしい水の供給	高度浄水処理率 (利根川水系) (%)	(高度浄水配水量 / 利根川水系配水量) × 100	57	76	25年度 100
	残留塩素目標達成率 (%)	(0.1～0.4mg/Lの給水栓データ数 / 給水栓の全データ数) × 100	60	65	25年度 100
	トリクロラミン目標達成率 (%)	(0mg/Lの給水栓データ数 / 給水栓の全データ数) × 100	60	75	25年度 100
蛇口回帰に向けた取組	貯水槽点検率 (%)	(貯水槽点検件数(累計) / 「クリーンアップ! 貯水槽」点検対象件数) × 100	25	20年度 100	20年度 100
	直結給水率 (%)	(直結給水件数 / 給水件数) × 100	62	65	28年度 70

注1 現在の施設は、関東大震災を想定して整備してきているが、この指標は、より厳しい内陸直下型地震への対応を示すものである。

2 現在の管路は、関東大震災を想定して整備してきているが、この指標は、より厳しい内陸直下型地震に対応するため、阪神・淡路大震災を契機に全面採用した耐震継手管の延長割合を示すものである。

東京の水道水源と浄水場別給水区域



※それぞれの給水する区域は漏水等の事情により変わります。



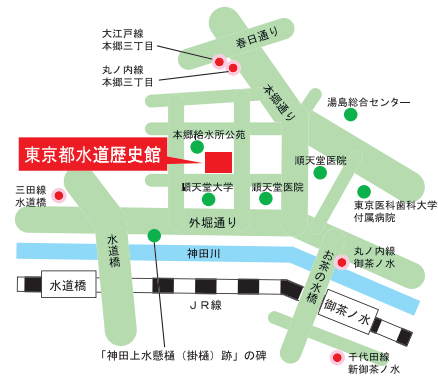
草木ダム
 堤 高 140m
 有効貯水容量 5,050万m³
 利水容量 5,050万m³



東京都水道歴史館

- 江戸時代の人々と上水の関わり、近代水道の歩み、現代の水道の姿を楽しみながら勉強できます。

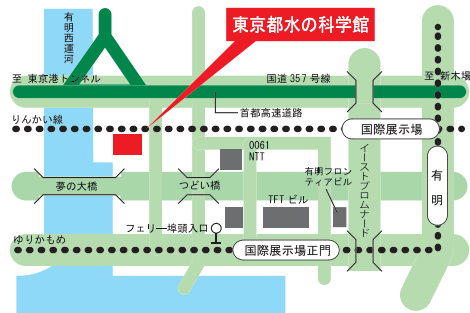
所在地 東京都文京区本郷2-7-1
 電話 (03) 5802-9040
 開館時間 午前9時30分～午後4時30分
 休館日 年末年始(12月28日～1月4日)
 入館料 無料
 交通機関 JR線/御茶ノ水駅、水道橋駅
 丸ノ内線/御茶ノ水駅、本郷三丁目駅
 千代田線/新御茶ノ水駅
 都営三田線/水道橋駅
 都営大江戸線/本郷三丁目駅
 下車徒歩約8分



東京都水の科学館

- 水の実験やデモンストレーション中心の体験型ミュージアムです。生活と水・水道との関わり、水の知られざる姿を実感することができます。

所在地 東京都江東区有明2-4-1
 電話 (03) 3528-2366
 開館時間 午前9時30分～午後5時
 休館日 月曜日(休日のときは、その翌日)
 年末年始(12月28日～1月4日)
 入館料 無料
 交通機関 ゆりかもめ/国際展示場正門駅
 りんかい線/国際展示場駅
 下車徒歩約8分



奥多摩 水と緑のふれあい館

- 水と緑と奥多摩を再発見し、人と自然について考え、都市と水源地との交流を図る場所です。

所在地 東京都西多摩郡奥多摩町原5番地
 電話 (0428) 86-2731
 開館時間 午前9時30分～午後5時
 休館日 水曜日(休日のときは、その翌日)
 年末年始(12月28日～1月4日)
 入館料 無料
 交通機関 JR線/奥多摩駅から西東京バス
 小河内方面行「奥多摩湖」バス停
 下車すぐ



水道局ホームページ <http://www.waterworks.metro.tokyo.jp/>
 きょうの水源ダイヤル(貯水量情報) 電話 (03) 5320-6410

ペットボトル「東京水」

水道水のおいしさを手軽に実感していただくため、高度浄水処理水を詰めたペットボトル「東京水」を作成し、イベント等で配布するほか、都庁内売店や都関連施設等で販売しています。



平成18年度
 規格表第4類
 登録第125号

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています